明治三十年八月十八日印刷
明治三十年八月二十日發行

婦人衛生雜誌

第九拾參號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第九拾參號
目次

講演

◉疱瘡及痲疹に就て　宮本仲君演說
◉食物調理法　理學博士 長井長義君

衛生叢談

◉水蛭のこと
◉肉類の新陳良否を鑑別する法
◉疾病の原因
◉植物性食物
◉川上雅量氏の避暑勉學
◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第九拾貳號
目次

講演

◉食物調理法　醫學博士 長井長義君

衛生叢談

◉慈母の哺乳の障害
◉大氣中の塵
◉水の事
◉氷の需用
◉葡萄製酒類
◉蕃藷と馬鈴薯
◉空氣療法
◉子宮癌種の咄
◉疫癘の原因に就ての講話
◉廣告數件

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第九拾三號
（明治三十年八月二十日發行）

講演

◎疱瘡及麻疹に就て

宮本仲君演說

私は此會に大へんに御無沙汰を致して居りました、處が兩三日前、本日金杉坪井の兩君が何か話をする處であつたが、兩君とも急に差支が生じたので、私になにか埋合せをせよと云ふ嚴命が降だりました故、出るつもりで御請を致しましたが、實は題に思ひ付きの無いのに閉口しまして、早速金杉に逢ふて、なんとか都合をして呉れるやうに頼みましたが、ドウしても今日は出られんから宜しく御斷りを申上げて呉れといつて平に謝しますから、髯の有る男子をさう余り責めるのも聞き別けが惡い樣て先方にも亦た可憐想たと思ッて、同專門の小此木君に依賴する事に致しました、小此木君も頻りに嫌がりましたが。漸く承諾を得まして私と二人前の分を遣ッて呉れるといふことで御坐ります。それで私は今日は出ないッもりでありました處が、小此木君の曰く、人を無理に强いて自分は引籠ッて默つて居るといふ事は無い、是非なにか一ッ御話をするやうにと云ふ請求でありまして、巳むを得ず出る約束を致しました、けれどもドウも今日に至るまで好き思案も御座いませぬが、然し今日になッて逃げる事も出來ませぬから取敢へず出ました譯で御座います別に好い考へも御坐いませぬが、近來御承知の通、小兒の中に

流行の病が續々出て參りました。其事に就て一二の御注意を御話申上げやうと思ひます。

一番先に流行ましたのが疱瘡、此疱瘡が近年に無い大流行を致しました。昨年種痘術を發見した先生の御祭典をしたにも拘らず、當年の如く疱瘡の大流行を來しましては既に百年も前に此豫防法を唱へられた地下の先生靈前に對し又た外國に對しても、大に我面目を失ふ譯で御座います、又日本の爲めに不利益なることは申すまでも無いのでございます。是れまで日本の船舶は余り歐洲又は亞米利加等に往來は爲なかツたのですが、近來に至て此航路か開通して漸々盛になりかゝつた處が天然痘の流行地と認められてから、外國の港々又た直達に行く亞米利加の如きでも日本の船に向て嚴重なる撿疫を行ふ事になりました。又英吉利領の諸港でも同樣撿疫を行ひます、船の撿疫を行ふのは傳染病者の有無を調べるばかりでなく、輸入する荷物に病毒の付着して來りはせぬかと大へんに嚴しく防禦くのでございますから、其關係は隨分に廣い貿易商業上等には大影響のあることで御座います、其甚しきは國力の盛衰にまで關係を及します、疱瘡の病毒は如何にも頑固で書翰などにまでも附いて持ち込みます故に、朝鮮邊から襤褸を輸入すると、ソレを下等社會の者が病毒の附着して居るかなどと云ふ考へもなく、何事も知らずに買ッてソレから病を傳へる原因にもあります、ソレで世の中の者は大へんにこれを恐れて居る。然るに今我國も斯う云ふ事に就て、外國から恐怖せらるゝは誠に恥しい話故、一刻も早く種痘を行つて流行を來さざるやう豫防しなければなりませ

疱瘡及麻疹に就て

ぬ。デ種痘の事に就ては、是れまでも屢々御話があつたやうに思ひますが、小兒に種痘を行ふのは大概生後三ヶ月から九ヶ月あたり遲くも誕生前までの間が最も宜しい。勿論其間に歯が生えたるとか、若くは感冒の時、又腸胃に疾患のあるとき杯は避けなければなりませぬ、又種痘を行ふに最も適當の季候は、春今比と秋涼風の立ち初めた時分が宜い。即ち嚴寒酷暑の頃でない方か宜しい。併しながら下等社會の者などは急に迫らなければ致しませぬので、毎も傳染病は下層の方から蔓延しまして遂にあなた方までも御迷惑を御受けなさるのであります。流行の際には時季などを撰ぶ暇はありませぬから、一刻も早く種痘をしなければなりませぬ、固よりあなたがたの方は御懇意の醫師も常々御心掛けかあるから宜しいが御出入の下々の者にはあなた方から呉々も勸めて戴かなければならぬので御坐います、而して眞の天然痘に罹らぬやうにしなければなりませぬ。流行する際には私共の小兒なども私か日々傳染病を見ることかあり升故に素人方の樣に避けて居ることか實際六ヶ敷い夫れ故に生れてから十四日目に種痘を致しました、十四日目に種痘をするなどゝいふ事は、書物にも話にも餘り見聞した事か無いのですが實に去廿三四年の交にして其比私は傳染病々院を東京府より預ッて居りし故毎日二百名位の入院患者の疱瘡を見聞する故、小兒の生後二週間ばかり嚴重に豫防し殆んと隔離して居ッて、二週間目に宅に戻ると直ぐに、右腕に唯た一粒のみ植へて遣ッた、三週間目位に少し斗り熱らしいものを發したゝけで何の障りも有りませずに能く感しました、而し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て其一粒の種痘がどの位の間効力が有るかと思ッて、其年の秋に一度、翌年より毎春一度ッヽ植ゑ試みましたが、いづれも一向感じませぬ、都合四年免疫して五歳のときに四粒植えて初めて見事に皆感じました。さて如斯最も早く種痘してそれがどれだけの害をなしたかと云ふに、一ッも害は無い故、他の友人等にも勸めて大流行の時は大概一粒て宜しいから初生兒にても早く種へさせました併し初生兒には二顆三顆と多く種るのは希望せぬ唯た一粒を種て接かなかッたら、又植ゑると云ふやうに致すかよいと思ひました唯た一粒なれは此迄どれも害を爲したるものは有りませぬ、當年も私方て生れました小兒も此大流行時故前に申た同様の狀況なれは無據生後十五日目に一粒のみ種痘しましたが、何の障りもなく經過しました。斯様なる次第で流行の際には時などを擇んて居れは万一には命までも失ひます成るべく早く種痘を施して、健全を保ッ様にした方が宜い。若し又一粒位の種痘をしたために、健全を保ッ事が出來ない様ならば眞痘に侵されたなれは猶更治癒の望みは無いものでございますから、斯う云ふことは深く留意するに及ばないと思ひますそれよりは不得止場合には斷然早く種痘を施して、病毒の襲來を防ぎ安全を保ッ様にするのが必要で御座います。又た一度種痘を爲さッた方でも大流行の時には念の爲め種痘を接けて置きなさるが安全です稀には眞痘を二度煩ッて亡人もあり升其痘痕ある人に種痘をしても大層見事に感するのか間ありまして珍しき話しでありませぬ。

それから又漸く痘疫か無くなッたと思ふと直ぐに

痲疹が流行ッて來ました。此痲疹と云ふものも矢張り疱瘡と同じく通常は一度罹ると二度は煩ひませぬが、必ず一遍は遣るものと定ッて居ります。二度するのは實に稀で、私の手掛けました患者の中で、痲疹を二度したのは、たんとはありませぬ併し今後注意し居たらば追々には見るかも知れません今日迄には某々二三氏にして其外には見たことが有りませぬ。それで素人方は疱瘡患者に逢へは目前種々の害が見ゆるから甚だ御嫌忌になるが麻疹は害が一寸素人眼に見ゑない故、なんとも思はれない、併しながら麻疹は餘毒即ち餘病が種々あッて往かぬもので有ります實際私共の取扱ふ中には隨分少くないです。麻疹が障碍なく癒れば宜いが、癒り損なうと急性又は慢性の氣管支の疾患慢性の肺炎、腸胃答加兒等を起し遂には肺の結核、肋膜或は、腹膜等の疾患、其他種々の病を起して長い間には生命を奪ふか如き隨分恐るべき事を貽すので有ります。麻疹は健康の際に極く輕く罹れば却て閑があけて宜しいのですが、癒し損なふときは大へんに危いもの故、中等以下の者が、麻疹は御役だからといッて一向病氣では無い樣に思ふて平氣に放抛して置き其出來損なッたもの即ち麻疹と同時に起りました氣管支の病か重ッたとか又は肺焮衝になッて強熱の出たときに、驚いて始めて醫師に連れて來るのが往々あります。併ながら此時は既に麻疹の治療は手後れになッたのですサレトモ麻疹の方は幸にして、疱瘡の如く爾う甚だしい害を起すのか多くない從ッて死亡する數か稍々少いです平生極健全無病なる小兒には大約百名に就て餘病を起すものは、一人か乃至三人位

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

疱瘡及麻疹に就て

の割合、ソレも不養生をしなければ、矢鱈に起るものでは有りませぬが平生虚弱多病の兒童なれば拾人乃至二十人余も種々の餘病を起す事がありま す況して不養生なれば死ぬのも多いです此麻疹は御承知の通り小兒に起る病で。傳染性の病故未だ麻疹をしない人が、麻疹の患者に近くと多分は傳染を免れない、殊に麻疹は外部に表はれた時に至て之を始めて人に傳染する計りではなく其潜伏して居る時に在ても既に他に傳染す性質を備へて居るのでありますから兒童の集る處にては潜伏の患者から即ち發疹の未だ出來る前に既に傳染性を備へて居ります。から之を全く防ぐ方は容易でない勿論麻疹のみならず、虎列剌の如きも虎列剌の容體を現す前に既に其糞便には病毒が潜伏して居て此より他に傳染することがある又痢病の如きも然うであります、疱瘡麻疹の患者の出來た其日が初めて感染した日でなく其以前拾日も先きに移ッて居ッたので皮膚面に發疹するのは其結果が愈々著はれて來たのであります。疱瘡は二週間麻疹は十日前後長さは十三日位感染の後内部に隠れて居ッて、ソレから發して參りますソレ故幼稚園小學校の如きにては全く之を豫防すると云ふは甚だ困難なる事で御座います、之を完全に豫防するには流行しない地方に避けて居るより外無いので御座います。强健なる小兒は重い麻疹に罹りましても、差支が無い弱いものは氣管或は腸などに慢性の疾を殘して夫れより是の周圍の腺にも長く病氣を傳へて遂には是腺に乾酪變性といッて乾酪の如きやうな變化が出來てソレから肺病などに移り行く或は結核の黴菌が隠れて居る樣な弱い人には麻疹の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

爲めに其れが喚び起されて、出て來ると云ふ場合もあります、兎に角體の虚弱なる者には、危險な場合も種々御坐いますから罹らないで濟むものならば、罹らない方が宜い。併しながらドウしても一度は免れない、假令他の地に避けても先づ東京に流行すれば、遠隔の地は知らず近傍の地にては通行が頻繁でありますから、病氣も一所に旅をして來る、それ故之を免かれると云ふは餘程困難で有り升。就ては麻疹の流行する際には麻疹は免かれ難ゐと覺悟して此代りに餘病の殘らぬ樣に注意するが増しだと思ひ升例之は風邪に罹らぬ樣に又腸胃を健かにして貫くが如きことも肝要、若しも風でも引いて氣管支か腸胃等の病が起り易い容體の處へ、麻疹が同時に來ると、相互に手傳ッて大へんに重い容体を起し易い、さもなくても經過の養生が甚だむづかしい。相成べく食物若しくは空氣の關係等を注意なすッて、他の病氣即ち續發症を惹起さない樣な方法を保ッて居るのが最も必要だらうと思ひます、デ斯う云ふ樣に麻疹は隨分恐るべきことの出來る病故必ず油斷をなすッては往けませぬ。又今日の處では麻疹はまだ種痘をして天然痘を防ぐ樣な豫防方法を發見されて居りませぬ隔離豫防を試むるので有りますが之に兼て麻疹の流行るときは各兒童をして特別に健强を保ッ樣にしなければならぬ、徒らに豫防々々と心配するのみで反て他に注意を怠りて、攝生をゆるがせにする樣ではなりませぬ必ず養生を嚴重にし健康を保ち置く樣に心掛くるより外仕方が無いのであります。

又此麻疹と同時に、百日咳と云ふものが流行して

疱瘡及麻疹に就て

居ります、此れも一度煩ふと再び罹り難く免疫性を具へる一の傳染病です毎も百日咳は麻疹と同時若くは其の御供をして來て、その流行を來たすことか多い當年なども私の視ました所では麻疹を見ない中に百日咳を煩ふ子供が多いといつて居りました、處が其中に麻疹病者をボツボツと見出しました斯の如き故殊更に麻疹を爲した後の子供に、大層百日咳がある、此百日咳の傳染病であることは醫師は勿論知つて居るが、素人方はどうも百日咳を傳染病として注意をしない樣に思ふ。此百日咳と云ふものは輕いのは只咳をせくだけ故、平生の通り小學校或は幼稚園に御出しになる、爾う云ふ處から一般に傳染するので有ります。是れはドウ云ふ事からうつるものかと云ふに痙咳患者が咳きする時出す鼻液或は吐出したる粘液等より傳染する……貴婦人方の前で汚穢なる嘔吐の御話をするのは甚だ失敬でございますが、外ならぬ衛生會の席上でございますから、私は遠慮なく申します、どうか今後も隨分汚ない事を御話致しますから、其おつもりで御宥しを願ひます。咳き込む度に痰を吐き、或は甚だしいのは皆食物を吐まするとー時の發作を止む重いのになると日に二三十回も發作して咳き込む輕いのは晝はあまりせかないで夜だけせくのであります其咳をせく間は、短いのは一二分それより五六分位か中等で御坐いますが、長いのは十五分位で、殆ど息か切れたと思ふやうになります、尙甚だしきは大へんに吐きまして何にも吐くものも無くなると、あとは「ゲッゲッゲッゲー」といつて居る、此吐く物唾液鼻液等に傳染性の毒を含んで居る故尤も能く注意して之を

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

仕末しなければならぬ實に此ものに他の小兒が觸れないやうに注意をしなければならぬ。世間では水痘位の如きも大層豫防をして居るものがあるにも係らず又た一部の人は反ッて百日咳の如きを傳染病と知らすしてか兎角輕々しく取扱ふものゝあるには困る故に或る一人百日咳に罹ると他の兄弟等も的罹るやうになッて仕舞ふ往々幼稚園や小學校などで此病を脊負て來ることがある百日咳も輕い性質の良いのは、肺の廣かりの少い平生弱かッた人が却ッて肺が擴がッて丈夫になッたなどといふやうな意外な事が稀に有るが重いのは矢張り是れも死亡するのがある其數の割合は百人に付三人内外に當る程の時も御座います。此病の初には氣管支加答兒が起る而して重症には肺に付ての難症を發し又た食物を攝ることが出來ず大衰弱の症に陥りて死亡致す。又其經過中種々の病を續發して死ぬのが往々あります、此百日咳は多くは弱い神經質の樣な兒童が兎角重く侵されます、百日咳は主に小兒の病でありまして大人で此症に罹つたものは私が見た何千と云ふ病人の中に、僅かに二人で御座います、なほ細く調べたら有つたかも知れませぬが、よく記臆して居る其一は或る所の御孃樣が幼稚園から傳染して來て、又ソレが母親さんにうつり母親さん年二十五六と孃さんと掛合で咳をして居られたのと他は四十三の父親が兒童二人より傳染したのとを見ました。大抵先づ二歳から七歳位までの小兒に最も多い、而して男兒より女子の方割合に多い、而して平生丈夫の小兒は重症でも經過は大へんに宜いのが普通です、併ながら平生弱い方の子供には多くは病も重く來まし

て、從ッて經過も長ひき害も後に殘り易い百日咳は經過の期を分けると、前後の加答兒期と痙攣期、とてあり一番初の加答兒期には、風を引いたやうで、咳がしつこく出る。併しながら普通の咳のやうに「コンく」と出ないで、出ない時は少しも出ないで、出るときは續いて出る、然れとも初めは百日咳であるかなんだかよく解らない、一週間位から少しく百日咳の疑ひが出て來る、二週間位から明かに百日咳といふことが分る。そーして晝咳が多く出ないで夜になると澤山咳が出て、咳の續いた終りに「ゲー」と云ふて粘痰を吐く樣になりての咳鎭まる斯樣に發作狀に咳の出るのは、百日咳に極ッて居る、爾う云ふ咳の出る際には兎角に傳染します故他の子供に接近しては往けない。即ち兄弟等にても混同して仕はぬか宜しい

隨分百日咳の重いのになると、醫師が余程骨を折ッても癒るまいと思ふ程のが屢々有りますから、決して油斷をしては往けない、殊に肺病質の人の小兒なとは、尚更注意をしなければなりません。薄弱の兒童は往々餘病を繼發して危い事かある是れも疱瘡を豫防するやうな工合の術は無い、それですから麻疹と同じ注意をして、甲の一兒が此病に罹ッたら乙の者どもは之に接觸せぬ樣に孰れの方かを避ける方が宜い、百日咳も二遍は煩はないのですが、稀には二度爲るものも有ります、又極めて生れたての小兒が此病に罹ると甚だ危險でおります又リリートと云ふ人が或る小兒は生れながら百日咳に罹ッて居ッたと云ふのを報告されました、併し是は何万中の一例に過ぎないと思ふ先づ此百日咳麻疹等は冷えないやうにするのが第一、

併ながら冷えないのが宜いといッても、四方の戸を閉ち込め濫りに空氣の新陳代謝を妨けて室内の氣を穢なくしてはなりませぬ。最愛の小兒が病氣にでも罹れは、心配のあまり多勢枕頭に寄ッて居るのは、人情の然らしむる處では有りますが、之が爲めに大人が良い空氣を吸ッて、惡るい息を吐き出すのが多くて、肝腎の小兒に新らしい空氣を與へる事か出來ませぬ室内空氣の不潔になるは百日咳や麻疹や是他の病にても甚だ宜くない故に病室には看護に要用なる人の外は集らぬか宜しい又戸四方密閉しないで、煖爐なとで程よく室内を煖めて大凡七十度内外の温度（体温計で、凡そ二十度乃至二十二三度位）を保ッやうにしたら一番宜しからうと思ひます。特に百日咳の如き病症には室内の空氣か餘り乾燥しないやうに、始終少しッ、湯氣を立て、置くのが結構です、即ち療治法にも、換氣療法、換室療法等の如き事かあります通り房室を澤山持て居る人は、今日は一室で療養をして他の一室は消毒潔掃して置きまして、明日は其清淨なる室へ病人を移し已前の一室をば更に消毒潔掃すと云ふやうに、毎日居室を交換する療治方もあり又た度々新鮮の空氣を更換する方もありて以ッて患者の自家傳染を妨く樣するは經過を短く輕くする利益か十分あります然るに冷へぬ樣にするのが必要だと醫師か謂ふたからとて、一向外に出さないで置くのは惡るい、暖和なる日に適宜に戸外に出でて、新鮮の空氣を吸ふのは更に害なきのみならず大に宜しい。併ながら氣管支粘膜に刺戟を受るやうな事は往けませぬ、輙ち朝夕の寒冷なる空氣、若しくは風強く塵埃の起た時日など

に室外に遊び或は屢々高聲を發ちなどするのは咳を促かして往けませぬ、百日咳も最初から適當なる方に從ッてよく取扱うと、必ず百日懸るといふ譯ではないので、五十日位も懸ると癒る、之に反して不良の攝生をする時には百日位では濟ませずに四ケ月も五ケ月も煩ッて往々余病を惹起し、遂に危き度にまで立到るものが有ります、深く注意をしなければなりませぬ。

今日は私は何も御話致さぬつもりの處、定めて皆樣にも御迷惑であッたらうと存じますが、併し俗間ては往々百日咳の傳染性を知らずして居りますと又麻疹は古來より耳目に馴れてなんとも思はない人かありて治癒るへき病も油斷の結果圖らさる重症に立至り今や始めて心配致すとも最早ドウしても治すへからざる場合に陷るのを不幸にも見聞する事か御座いますから、實に此御會の方々は勿論皆樣の御知人にも左樣の事のない樣にソレを御承知を願い度い爲めに一言申上けた譯で御座います。つまらぬ事に御聽聞を煩はして恐入りました

サテ今日御紹介を致します此小此木君はそも〳〵私か東京へ出た時分からの親しい友達で御座いまして、如何にも勉強着實の人であります、しばらく西洋に參ッて、殆と九ケ年はかり留學して昨年歸朝致し耳科を專門に致し駿河臺に開業して居ります猶耳の事に就ていろ〳〵珍らしき御話しもあり餘程實地の研究もありますから今日御差支ありし金杉君の代りにと申しては失敬てすか御懇意なる所で强ひて一場の講演を御依賴し玆に御引合せを致すのでございます。

◉食物調理法

理學博士　長井長義君講演

只今宮本小此木の兩先生より素人に取りましては大へんに益の有る御話を承はりまして、誠に難有存じます、私はやはり以前に申上げました續き食物の製方に就て申上げます、ソレを申す前に、私は皆樣に再應御願ひを繰返します。宮本先生の御話通り、此春は大へんに疱瘡が流行しまして今また痲疹百日咳も流行る、之に就てソレ〳〵の御心得はあなた方は有名の御醫師樣の御講演も屢〻御聽きになり、又御知己も御有りになりませうから、彼らより御注意申すものも澤山あッて、其方に手拔けはありませぬが、一番困りますのは下等社會の人間是れは何事に就てもいつも衛生上い火元になる、折角あなた方は彼是れと御心配御盡力になりましても、ソレを打壞すのは下等社會、此者等に衛生の大切なる事を訓へまする道と云ふものは誠にむづかしいので有りまして、私は其事を始終憂ひて居ります、ソレで前にも此事に就て御願ひを致し置きしましたが、又此度も同じことを願ふのでございます。若しも今兩先生の御話になりました事も、下々の處まで普く及ぼしませぬときは其効能は僅かに止ッて殘念故、斯く〳〵いふことは大事にしなければならぬ、痲疹も疎かにしてはならぬと云ふ事が下々の者にもよく解るやうに致したい。ソレで私は先達も申した通り御奥樣方から御召使の下婢…………彼等も後には緣付きまして一家を興すもの故、是等の人々に奥樣方から折のある度毎に、衛生の守るべき事を御訓へになつたら、其効能の及ぶことは他にありますま

いと存じて、會に出まする度毎に此事を願つて居るのですか、復も繰り返して願ひたい感情が起ります。丁度皆樣が先生方より御話を御聞きになるやうに、御召使の者どもが、あなた方から御話を承りますと、その効能が弘く傳つて其者が、緣付いて後も、奥樣から斯樣〻〻に御申し聞かせが有つたが我々も是非斯うしなければあらむ、若し爾うしないと我々ばかりでなく、上々の方にまでも難義をかける譯であると云ふことが解りまして、眞個に衛生の道が弘まります是れは外の方には決して出來ない、貴婦人方の御盡力を偏に願ふ處であります、奥樣が折に觸れて諄々と御說き聞かせ下されば、其効能は我々が申すより遙かに多いので御座います、殊に傳染病の如きはいつも下の者が不養生を致し、折角皆樣は御防ぎになつても下々から傳播いたすのですから、たとひ傳染病の無いときにも、御注意あらむことを願ひます、是れは甚だ餘計な事のやうで恐れ入りますが、今両先生の御話を承はるにつけ、切に希望して置きます。

ソレから前會に、肉類は取扱によつて養ひになるべきものもならむやうにありますと云ふことを申上げ、魚肉の製方に就て少しばかり御話をいたしました。デ此肉類の料理方をば一々細かく申上げる譯には參りませぬから、總じて大畧を申述べます。

デ日本でも凡そかう云ふ食物の料理方に變りは有りませぬ、是非燒くとか、つゆのやうに煮るとか、或は油で揚げるとか、煮込みとか云ふ位のもの、肉類は油で揚げると申しても、日本では天麩羅く

らぬのもの、おつゆには澄んだもの濁ッたものも有ります。此煮方を大別しまするとニ通りあります、輙ち吸物は實より汁の中に養分のある樣にするのが目的、又一方の煮込は汁より實の中に養分を餘計に殘すやうにするのです。デ此肉類に致しても鳥の肉にしても、獸肉、牛犢羊兎等の肉の中には、養分なる處のものもいろ〳〵有りますが、主なるものは蛋白質、モツ一ツは魚などを冬煮て置くと煮凝魚にあるもの、此二ツの中殊に蛋白質のものは、煮方に因ッて全く養ひをなさんやうになる、だうした時分に養ひにならんかと云ふに、あまり石灰の澤山に這入つて居る水で煮ると硬くなッて胃に這入ッて、消化液が染み込んでも容易に溶けない樣になります。又我々は始終同じものを食べて居ると厭になる、ソレ故時々は色々異ッた製方を用ひなければならぬ譯であります。

ソレで此肉類を消化易いやうにするには、一番宜いのは燒く、而も脂肪が嫌ひでなければ……（脂肪の良否は別に言ふ）はじめ脂肪を煮て極く沸き立ッて居る中に、肉を入れまして切目は成るたけ小さく無い方が宜い、ソレを入れると上皮がさきに凝固ッて仕舞う、ソレがかたまつたら、火を溫くして中まで凡そ煮れた位にして、御出しになりまして、其上は決して煮ない方が宜い、何故脂肪を沸騰した中に入れるのが宜いかと云ふに、さうすると上に皮が出來て、丁度肉を紙に包みたるか、或は布を被ぶせたか、或はブリキ罐に入れたやうに、内には充分液を含んで居ッて外に溢れ出ず、丁度内は蒸燒の樣になります。箸で突くと内から大切の部分が出て味が惡くなるばかりでなく、大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

へんに消化惡くなります。英吉利あたりでは殊に牛の肉を好んで食べる、ソレで切目は成たけ大きい儘が宜しいのですから、一家内が大抵三日も四日も食べられるだけの大きな肉塊を一度に煮ます其製方は脂肪は牛の心臟を包圍して居るものが宜しいのですから、ソレを澤山に沸して、大きい儘の肉を入れ、大抵時間を測ッてソレを出しまして内部はまるで生の樣で、漸く温かみが通して居るか居らむ位に、若しも切ッて見まずると血の出るやうになッて居る、是れは我々には食べられないけれども斯うして置くと消化も宜く、又食べ慣れますると、却ッて其味が好いさうです。烏渡聞きますると、大へんに不經濟のやうですが、其脂肪は何遍も遣うことが出來ますので大へんに都合が宜しいのです、此脂肪で雜と煮ましたものはあとは只味を付けて食べるもので御座います。日本にも是れと同じやうな天麩羅と云ふものがあります、勿論これとても元日本ではじめたものでは無いのでございませう、此天麩羅と云ふものは大へんに好いやうでございますが、胡麻の油は大へんに味は好いが、消化が大へんに惡るいから宜しく有りませぬ、けれども牛の脂肪で煮るのは脂肪を好まむものは用ひる譯に參りませぬ。

次には燒きまするのです、肉類を燒きまするにも、始めて強い火で上皮をこしらへ、而してあとは温火で燒きまずると蒸燒の樣になッて宜い、是れを若し始めから終まで強い火で燒いて居ると内部から大切なる液が出るばかりでなく、だん〳〵水分が出て（七分通りは水です）味が惡るくなるのみならず、かさ〳〵になッて消化も宜くな

い、照焼などは程よく燒くと隨分味も可く消化も宜しいのです。

それから煮込み、是れも前に汁を沸して置いて、そこに肉を入れあまり、長く煮ない方が宜い、總て肉類は長く或は煮燒ますると硬くあッて、消化も惡るく、味も損じます。肉類は一番養分のあるのは「ブロース」のやうなもの、次に燒き、次に煮るのです、肉を煮ますするとお汁の中に養分が出ますから、汁は一所に召上がるやうになすッた方が宜い。

次に吸物、是れは今まで申したのとは全く反對の効能で實には少しも効能は有りませんです、實に少しでも効能の有るやうに煮ますするには、さきに汁を沸して置いて後で實を入れればよろしいが、ソレでは風味が惡るいから、矢張りれ汁を甘くして實は煮滓にして御取りになる方が經濟的効能が有ります。實も汁も兩方を半分々々などにすると却ッてお汁もまづく、實も養ひを爲しませぬ實の中に含める滋養分を充分汁の中に出さうと云ふには前に申した煮込みや脂肪で、一旦煮るやうに、水を沸した、處に直ぐに實を入れては往けませぬ、何故といふに、此仕方は外側に皮をこしらへて、内部の滋養分を保たせると云ふので、れ汁はさうではあい、實の中の養分を汁の中に出したのですから、凡て汁は微温湯或は水を實と一所にして、火に御掛けになッて、漸々火を強くなすッて、一旦沸騰したらあとは餘り煮ない方が宜いさうすると肉類の中から養分が悉く水の中に出て仕舞ひます、而して味はあとで御附けにある方が宜い。又水のときに、塩や醬油を御加へにあると養分が出

て參らぬ故、先づ始めに煎じてお汁の中に養分の出た所で味を附けるのが宜しう御座います、なは肉と一概に申しても鳥獸魚等で其扱ひ方も多少違はなければなりませぬが、先づ動物性食物の料理の大體は斯麼やうなものです。是れをモウ一度反復しますると、肉を其儘召上がる場合には上皮をこしらへて内から大切なる液の流れ出ない樣に蒸燒にするのが一番宜い、けれども毎でも一ッものでは倦きますから、其變法はお汁のやうにしても亦煮込んだのも宜しい、さうして煮込んだ時分には、實も汁も食べられるやうに、汁を熱く沸した中に入れ、又吸物の時分には水と實とを一所に煮まして、だん々々と養ひになるものが出て參るやうにいたし、又脂肪で揚げるにせよ、煮るにせよすべて肉類はあまり無益に洗はぬ方が宜い、殊に切ッて水の中に漬けて置くのは宜しく有りませぬ只見た處では量が減りもせず、形も變りませぬが肝腎の養分は水の中に溶けて、形だけを止むるやうな事になりますから、僅かの水で必要だけ洗つて、殆ど無益といふまでに、徒らに洗はぬ方が宜しう御座います。今日はいろ々々益のある御話もございました事故、私は是れだけに致して置きまして、此次に又委しく申述べます。

衛生叢談

◎水蛭のこと

病人に水蛭を貼しまするには先つ其患部を裸になし温湯にて洗ひ其部を指て摩擦なして赤くなりてから貼るを良と致します尤も患部に毛髮が生へ

て居りまするど吸ひ付にくき故に之は豫じめ剃除き置かねばありませぬ若し吸着かざる時には少量の乳汁、ビール、砂糖水或は他の部の血液を一二滴取りまして之れを其部に塗りてから貼しますれば大概は着くものであります
數十疋の水蛭を貼しまする場合には吸角又は硝子の椀に入れまして患部を覆ふなり若し二三疋の水蛭を貼しまするときには布か紙にて靜かに虫身を包みまして其尾の方即ち稍大なる方を撮みまして吸着かしむれば良しくあります又口中或は鼻の内に貼用しまするときには長き糸を虫の尾の端に縛りまして深く這入ときに引出しまする用心をせねばなりませぬ
水蛭を亂暴に引き放ちてはなりませぬ自ら脱落するを俟つものでありますが病人が其爲めに眩暈などを興しまするとき又は定めましたる時間を過ぎても脱落しませぬときには少々の食塩を虫身に撒布ますか又は煙草にて薫しますれば直ちに脱落致すものであります若し脱落致しましたる後は石炭酸水に浸し置きましたる綿にて其部を拭ひ出血の止むを待ちまして更に新しき石炭酸綿にて被ひ輕く繃帶をなし置くあり如何にしても流血が止みませぬときには醫士を招くが第一であります之れと反對に水蛭が落ちましてのち尚ほ出血を要しまする場合には其部を温湯中に浸しまするか又は温湯の罨布をなさいませ終りに臨みまして御注意申すとは水蛭を決して大なる脈處に貼してはなりませぬ

●肉類の新陳良否を鑑別する法

肉類は其肥たるもの又瘠たるもの丶割合によりて

滋養の性分を異にし加之牛、羊の如き肉は其香味にまで大なる差異を及ぼすものなり而して瘠肉は比較的容易に消化しにくきものなれば從て滋養の薄きを免れ難し又肉の肥瘠は動物の種類と之れを養なふ方法に關するものなり例へは雜艸蕃茂したる原野に牧養したるものと地形荒蕪の所に飼養したるものとの差異は實に驚くべきものとす其他脂肪の關係等之れを醫學上に穿鑿するときは甚だ複雜にして婦女子の平常心得うべき必要なし故に簡易なる方法を擧げて次に述べんとす

一良肉は臭氣なく若し臭氣あるも輕微にして不快ならず病肉又は腐敗に傾きたる肉は不快なる惡臭を發す之れを撿定せんと欲せば肉を細片に切り沸湯を灌くときは臭氣を發す

一肉の切片を觀て筋と脂肪と交錯して恰も大理石狀の紋理をなすものは新鮮なる肥肉なり之は消化し易く且つ滋養分に富む俗に更紗肉と云ふ

一肉の色は決して曇紅色又は深紫色なる可らず曇紅色なるものは病肉の徵にして深紫色なるものは屠殺したるものに非ずして肉中に血液を有して死したるもの或は劇しき熱病に冒されて死したるものなり

一良肉は指を以て之れを按するに緊實にして彈力を有し指頭を潤ふすこと少なく且つ試驗紙を以て其液汁を驗するに著しき酸性を呈はさゝる可らず不良の肉は濕潤柔軟にして其脂肪恰も羊皮紙の如し

一良肉は華氏の二百十二度内外の温を與へて乾燥するも其秤量百分の七十乃至七十四分以上を減ずることなし之れに反して不良の肉は八十分の多

きを失ふと屢々ありとす
一良肉は之れを放置すると一日許なるも其表面に
濕潤を生じ又は水球を見ることなく却て乾燥
するものなり
一良肉は割烹するが爲めに收縮して其容量を減少
すべからず
一屠者に於て病肉或は不良の肉に脂肪を塗擦して
外觀を裝ひ之れを衒賣すること屢々之れあり總
て前諸項の惡徴なき肉と雖とも若し良好ならず
と疑ふとある時は顯微鏡の力を藉りて之を撿せ
ざる可らず然るときは種々の寄生虫の存在する
を見ることあり

◎疾病の原因

第一氣候

熱帶地方には胃腸の疾病及び寄生動植物に因て起
る疾患多く寒帶地方には呼吸器病多く海岸には眼
病多く夏季には胃腸の傳染病あり冬期には氣管支
加答兒等を增加するものとす又温帶地方に於ても
夏冬の間疾病自然に其種類を殊にするものなれば
氣候も疾病の原因となるや疑ひなし

第二衣食住

衣食住の良否に因て大は一國小は一家族の健康の
狀態に大なる關係を及ぼすとは一般に世人の知る
處あり衣服及び住居は人体の皮膚を保護すへき器
具なり即ち外界に於ける空氣の寒暖幷に乾濕或は
日光風雨の皮膚を直接に刺戟するを防禦するの用
をなす之れに由て体温の謝出を妨げ或は体温の放
散を防ぎ或は空氣の水分を吸收する等の衣服は良
きものに非ず之れは感冒、日射病（炎天に曝され
て暑氣の爲めに仆るゝ病等を起す媒介となる又衣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

服の不潔なるものは皮膚の新陳代謝を妨げ、加之寄生虫（蚤、虱の類）を生じ易からしむ而して住居の身体の健康に關係あるは土地の清潔なると不潔なると室内を空氣の良く流通すると否と又日光の照射するとせざるとに在り其他天井高き廣き室は多量の空氣を含有するを以て夜間戸を閉ヂ其中に平臥するも室中の空氣悉く不潔とならざれば人体に害を及ぼすとなし又室の面積に比例して窓を增減する等種々の工合に由て人の健康に關係を及ぼすものなり

食物に至りては時々此雜誌に其一小部分を述べ以て幾分の御參考に供したる如く人体に最大の關係を有するものなり

食品の種類例へは動物性食物（獸肉、魚肉、鷄卵、牛乳等）又は植物性食物、米麥類、豆類、薯、蔬菜等食品の良否（新鮮なるか腐敗に傾きおるか消化しやすきか否か滋養多きか少なきか）及ひ食品の配合調理は各國に於て其氣候及ひ職業に適すると否と、其生理的出納の平均を得るや否やとに隨ひ又食品有毒なるや否とに由り人体に直接に或は間接に疾病の原因をなすものなり氣候寒き地に於ては外界に對して身体の熱を保持するために脂肪多き者及ひ蛋白質と含水炭素を多量に攝取せざるべからず吾人も冬日には食欲亢進を來たし夏日には之れに反するを知るべし蓋し同一理なればなり又食物消化の點に於ても南方に在りては植物性食物を多く食ひ體温の產出多きを望まざるが如し又食品の配合調理の點に於ては人の職業の異なるに隨ひ一樣なるとなし力役者は粗惡の食物多量を取り身体强壯なれ共座業に從事するもの又は精

神を勞する者等に在りては凡て消化し易き食品の少量を攝取すべし又事故ありて從來の職業を止め或は異邦に移住して生活の狀態に異變を來たしたる際には往々腸胃病又は營養の障害を起すとあるべし又配合の工合も一樣なるとなし即ち決して一定の秤準に憑る能はざると我師隈川博士等の實驗に依て明らかなり然れとも日常の食物は動物性又は植物性の一方に偏するは大に宜しからず動植性両者を混合して始めて完美なる食物をなすにいたる

第三職業

職業が疾病の原因となるは往々見る所のものにして終日直立歩行して重き荷物を擔ふ少年は扁平足(足の裏平坦となりて歩行困難を來たす足の奇形病)又は彎脚(両脚が膝の部にて合し脛が互に離れたる奇形病)となり筆耕者は日常筆を以て細字を書すが爲めに所謂筆寫痙攣を發す又音樂の先生も屢々奏樂の際に手指に痙攣を起す又活字鑄造人には鉛中毒あり石工、石炭運搬夫等には肺の吸入病に罹る等の如し

第四風俗習慣

日本婦人は古來涅齒(オハグロ)の風俗ありしを以て屢々天然の齒を害し支那婦人は足を人工的に變形せしめ歐米婦人はコルセットにて上腹部を壓搾し爲めに肝臟に變形を來たし或は腸胃病を原因せしめ又幼兒より靴の爲めに足に局部硬變を生し又入浴稀なるを以て皮膚病を患ふると多き等なり

第五理學的刺擊

い、器械的刺擊に因て生ずる身体の損傷に諸種あり即ち之れを一般に外傷と云ふ例へは地上に仆れ

て手足を傷つくると又は其骨を折ると又は脱臼すると又は擦傷を受くると或は刃物にて身体を切ると又は尖りたるものにて刺すと或は彈藥類にて蒙りたる銃創は火傷等人生に最も多く日々目撃する諸疾患を起す然して損傷を起すべき器械の鋭鈍、外力の强弱と被害部の組織の抗抵の如何によりて損傷の狀態及ひ其結果に種々の差異を生ずるものとす外力愈々强きときは從つて大なる損傷を起し一時に生命を失なふとは鐵道往生などとて往々新聞紙上に讀む所のものなり又外部に傷を見ざるも內部に機能の變調を來たし疾患を起すともあり例へは頭部を平たき板にて眞向より强く打ては別に傷をなさずして一時失神す而して後ちに半身ノ不隨症を起し又は失語症（言語を發するとあたはず）等を發するとあり其他楊子を嚥下せる爲め胃に孔を生じ又は膀胱にカテーテルを挿入する際に其側壁を損傷して膀胱炎を來たす等のとあり

ろ、寒熱

寒熱甚しければ多く疾病を誘起するとは普く世人の知る所なり例へは灼熱したる金屬の器、熱湯或は蒸氣に身体を觸るれば火傷を被るか如く寒風激烈の際には感冒に罹り雪中を裸足にて步行すれば凍傷を患ふるが如し

は、氣壓、

高山に登る者或は輕氣球に乘する人は氣壓減少、空氣稀薄となるがために眩暈、呼吸困難、衄血、眼瞼血膜の充血或は出血等を來たし又海中に沈沒したる物品引揚けのために泳氣鐘内に在る人又は潛水器を被りて海底に働作する者は氣壓昇騰、空

氣濃厚なるが爲めに呼氣をなすに苦しみ終には窒息するとあり

に、光線、

之は吾人の生活に必要なるものなれ共最下等の有機物には却て不必要のものなるが如し然れ共吾人が單に日光又は白色の光線を久しく熟視するときは眼を害す又雪多き地に於ては雪の反射に由り眼病を患ふるもの多しと云ふ又熱帶地方に於ては日射病に罹るもの多しと云ふ

は、電氣、

落雷にて電擊を蒙りたる者は直ちに人事不省となり卒倒するものあり輕きものは火傷と一般なる症狀を呈するか或は其後諸種の神經病を續發するものなり頂傷を受けたるものは多く斃る

へ、音響、

之は聽覺に對する刺戟にして音波の空氣に傳はりて耳中の鼓膜に達する速力、高低、大小共に强大にして且つ俄然なるときは吾人一時若くは持續性の聾となるのみなり

第六化學的刺戟

化學的物質の身體に刺戟を與ふるは其物質の性質によりて諸種の變化を惹起するものにして直接に體の外面或は內面の粘膜を浸すものあり或は血中に吸收せられて後ちに血液に變狀を來たすものあり或は神經中樞又は末梢又は筋肉に變調を起すものありとす

以上陳述したるは總て外界より人体に及ぼす原因あるを以て之れを外因と云ふ其他內因と名くる一大部類あり之は各個人、各臟器組織、男女、年齡營養等に隨ッて千差萬別なる疾病を起すものあれ

ば他日を期し再ビ記載する所あるべし

◉植物性食物

動物肉は専ら筋肉營養の偉効を有しをりますから之れを混じて食することは最も良きことでありますが動物肉ばかり食ひますとか又は植物をのみ専用に致しまするとか一方に偏して其どちらか人體に利あるかを比較致しませすれば植物は窒素を含むこと少なくあるにかゝわらず其他の營養分に富でおりますから寧ろ植物に偏する方が害少なくありまして利あることと思ひます植物性食物は穀物を最上と致します

いゝ小麥は其種類、地味、氣節等によりまして其成分に少しの差はありますけれども一般に申しますれば寒冷の土地に産しまするものよりは温熱地方に産しまするものが宜しくありまする我國に於きましても往古より之れを播種致しておりますが近年迄は其性分の優れおることを知りませぬ故に之れを主用の食物と致しませずして唯味噌醤油又は菓子素麵などになしております位のことであります然し米穀を産出しませぬ僻村の人は之れにて團子などを製して主用致すと申すことであります然しながら學問が日々開進致しましたる今日にては之れを以て麵包を製し主食に致すやうにありましたれ共先づ之れよりは米飯の方が習慣にて甘くして食後充分満足したる感がありまする西洋料理に參りましたる時か病氣にて腹工合惡しきときかには之れを用ふる位であります又旅行致しまして寒村僻地にては之れを購求せんと思ひましても決してぱんは見當りませぬ又陸軍にをきまして戰爭の際便利上此ぱんを試用致しましたるが之れにて兵卒は決して滿

足することができませぬと申すことであります然しながら其實際の滋養分を分析したるものを見ますると蛋白質は米などより多量でありまして中々良き食料であります歐州人は大抵此小麥粉にて上下共主食物となしてをります若し凶年にて其價が不廉のときは奸商等が蠶豆、豌豆、燕麥、大麥、裸麥、馬鈴薯粉、蕎麥などにて僞造致しまして販賣しますると申すことであります記者は腹の工合惡しきために本年四月初旬より朝食は麵包半片牛乳一合と定め今日も引續きて使用致し居ますが大分此頃は腹の調子宜しくなりました且つ食することも始まりは飽きが來ましたが今は何ともなくなりました

、大麥は小麥に類したる穀物でありますが植膠と申す性分小麥より寡なくありますから之ればかりにて製しましたる麵包は重く固くありまして輕く軟かには參りませぬ故に小麥などゝ混合して食用に供しまするのが宜しくあります之れより製造致しまするものは主もに麥酒であります

裸麥及び燕麥は共に滋養分多くありまして麵包を製することができますが其味が小麥などより大に劣ります北獨逸國の下等人民は之等を常食に致すと申します

、米は我國に於て古來主食として播種致しましたるものでありまして肥後産を以て第一等のものとなします其養分は地味によりまして幾分の差はあるものでありますが一般に申しますると他の穀類より滋養分少なきものでありますが人体は單に米のみで養なはるゝものではありませず他の滋養物と倶に攝取致しまする故に困難を覺ゆるとはありま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

せぬ南亞米利加、印度、支那、亞刺比亞等にも多く產出致しまして全世界中之れによりて生活しまする人民は約そ壹億万以上あると申します歐州諸國におきましては米を副食用となして種々の調理を致します

黍は諸種ありますれども其性分は大抵仝一であります印度、埃及、亞非利加の內部等にては之れを耕作致しまして常食となすと申します其性分澱粉及ひ砂糖に富み窒素含有物は割に少なくありますが又滋養の効を奏します

玉蜀黍は世界中最も廣く用ひられまする食物でありましてメキシコに於ける下民は全く之れによりて生活する位であります之を食しまするには粉末となし小麥粉を入れ麵包又は菓子に製すると申すとであります然しながら玉蜀黍のみを專用致して他物を食しませぬと健康を害し終に疾病を起します即ち手や腕に鱗狀の浮腫を起し精心衰へて死に至ると申します且玉蜀黍は調理法不良でありますると消化惡くして滋養分を血中に與へるとが出來ませぬものであります我國にても夏日之れを茶の相手に嗜むものあるが多くは火に焙りてか又は湯にて煮て食ますから余り多食しまするると下痢を起すとがあります然しながら其滋養分に至りましては反つて米なとより多きと申すとてあります

豆類は穀物に亞ぎ滋養の効力ある食物でありまして世界中何れの國にても能く之れを產出し又何れの地にても能く食物として用ふるものでありまして歐米にても可成之れを食用に供します我大學にて之れを分折致しましたるものによりますれば頗る優等のものでありまして從來我邦植物性食物

中で最も貴重のものでありまする又豌豆、蠶豆等も從來我邦におきまして多く耕作致しまするが副食物として未熟のものを食ふとが多くて眞の主食には用ひられませぬ又大豆より味噌、醬油、豆腐、湯葉等が製せられまして日常人の食物となりまするから知らず〳〵滋養分を攝取致しておるわけです唯御注意申し置くとは總て豆類を食する時には成るべく其皮を去りて取るとであります若し皮と一所に食すれば胃中に於て消化致しませぬ故に折角の滋養分を体中に吸收するとができませぬ

、、蔬菜とは蕪菁、胡蘿蔔、葱、韮の類、獨活、花甘藍等を申しまして大抵は液体を含みまする植物でありまする是等は別に大なる滋養分を有しておりませねど壞血病と申す病を豫防致しまするから平常食用にせねばなりませぬ

菌茸の乾きましたるものは滋養の効ありますれ共屢々有毒のものを知らず食するとあれば注意せねばなりませぬ其有毒或は無毒の鑑別法を申しますれば大約次の如くであります

食物すべきもの

一 空氣よく流通して乾燥なる所に生じたるもの
二 其色通常褐色又は白色のもの
三 肉質緻密にして脆し
四 切りて空氣に觸れしむるも變色せず
五 滲液は水狀のもの
六 香氣爽快のもの
七 味ひ無味のもの
八 湯にて煮其中に銀製のもの(釵子)を入れ試み金屬黑色とならざるもの

◉有毒のもの

一　深林雜叢中濕地に生じたるもの
二　其色美にして光澤あるもの
三　肉質柔軟にして水液多きもの
四　切りて空氣に觸れしむれば褐色、綠色又は藍色に變ず
五　滲液乳狀なるもの
六　劇臭あるもの
七　味ひ苦、辛、澁、酸或は鹹きもの

兎に角平常目に見まする松蕈、乾蕈等は食しまするも平常余り見たるとなきものは食さぬのが一番安全であります

、蕈實は或る種類を除きましては別に大ある營養分を含有致しはしませぬが一種快美なる香味を其液中に含みたりまして神心を爽快に致しますから之れを食後に取るを宜しと致します又便通を良くする効力があります

其他海艸類、砂糖、酢など諸種の植物性食物ヲ申しまするど中々盡きませぬから今回は之れにして筆を閣きます

◉川上雅量氏の避暑勉學

私は本年九月以後卒業試問を受けねばなりませぬ身分でありますから此夏期休業は實に下調に多忙でありましてとても大暑中東京にて勉學致すとは覺束なくありますから何地へか涼しき靜かなる處に轉寓致したいと思ひ居りました尤も毎年此卒業試問を受ける學生は多く箱根、伊香保、房州邊に參るを例と致します故に私も矢張り箱根に參らうと思ひ六月末學年試問を終りまして直ちに箱根に參りましたが本年は氣候が少し遲れたるが爲め箱根は濕氣甚だしく爲めに不快となりましたる同學生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もありましたから之れでは勉强覺束なしと思ひまして間もなく歸京致しました然しながら遲かれ速かれ大暑になるに定まつておりますれば一日も早く他處を索めて行かねばなりませぬと思ひまして友人の勸告に任せ同行四人（恐く同學生）にて去る五日常陸國水戸を東に去る約三里なる海濱大洗岬に參りました此地は東茨城郡磯濱村の海濱でありまして可なり有名の海水浴塲であります此處は東は太平洋に對し西北に山を負ひ波甚だ激しくなく海中に三町ほど斗出致して居りまして岩石奇形老松鬱々と繁茂致し魚類に富み空氣新鮮であります且つ人心質朴でありまして餘り營利的の所業は致しませぬ故に海水浴塲にて遊興を爲さんと欲する人々には適當ではありませぬが閑靜の山水を賞する人或は身體虛弱の者或は肺病患者には良き地てあります旅店は魚來庵、金波樓、小林、杵屋等がありまして其中魚來と金波は最上でありまして海濱に面して建築せられてあります宿料は一夜三十五錢一週間十名以上でありますれば一人前二圓五十錢にて十名以下でありますれば三圓位であります此處に來まするには上野發午前六時二十五分或は八時二十五分の滊車に乘ずれは正午前後に水戸に着します滊車賃下等八十九錢夫れより人力車一臺四十錢にて三時間を費やし大洗に行くとができます若し又水戸を一見せんと思ひますれば先づ常盤公園を見るのが一番であります此公園は水戸上市の西南約二十町の處神崎と云ふ地に在りまして人力にて停車塲より八錢で參ります又東京近傍と異なりまして滊車道の傍らを歩みますれば十二町程にて公園の入口に着きます此公園には常盤神社がありまして庭中甚だ廣く梅樹が多くて前面に千波沼がありまして高燥で冷しく此處に在れば夏知らずと申します公園の中に好文亭と申す

水戸源烈公の樓がありますこれを見まして泉町より南町を見物致し第二の公園と申す舊弘道館の園囿を一見し杉山と申す處の下より汽船に乗りまして（上等一名十四錢下等七錢）祝町と申す處に上陸し此間二時間人力車十五錢を投じますれば大洗まで大抵三十分にて達します汽車は午前八時、正午、午後五時の三回出帆致します又特別に小舟を備ひて行くともあります大洗より磯濱に散歩を試るは晩食后の適當の道程であります又海濱を沿ふて來ることもできます磯濱には警察署、病院、郵便局等ありますから不便ながらも二週間位は居られます唯東京より御出張になりまするには御菓子を御持參なさらぬと此地にては召し上がるゝ御菓子は御座りませぬ

廣告

◉入會者

◉沖なゐ子の紹介に依り

秋田縣平鹿郡舘合村宮田　土田てい子

◉事務所へ申込に依り

麹町區富士見町一丁目二十九番地加藤順造方　石川せき子

日本橋區蠣島町一丁目三番地　倹方もとよ子

淺草區須賀町二明治病院内　梅若かざし子

京橋區西紺屋町八番地京橋看護婦會内　山田とら子

牛込區神樂坂町三丁目二番地石崎なと子方　井村かつ子

木村せい子

◉高木梅子の紹介に依り

下澁谷村赤十字社病院内　磯部くに子

◉船曳みき子の紹介に依り

飯田町一丁目八番地　口羽いま子

◉青木すゞ子の紹介に依り

下谷區二長町九十二番地　永谷きし子

◉新潟支會人申込に依り

新潟市白山浦一町目　淺野なを子

仝旭町通一番町　小林ゑい子

◉移轉者

麹町區下二番町六十一番地へ　津田仲子

神田區錦町三丁目六番地へ　児琴子

芝區愛宕下町四丁目六番地へ　橋口喜代子

赤坂區檜坂町五番地へ　德富靜子

野州那須郡烏山町黑須堆精方へ　佐藤うめ子

芝區櫻川町六番地へ　澤とよ子

小石川區宮下町拾番地へ　中村春子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を増進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し
　但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て修身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす
　但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を賛成する者は之を賛成員とす尤も會費は本會員に同し
　但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身賛成會員(無會費)とすることある可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皐族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず
　但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る
　但幹事の分課を設けて　第一　會計　第二　編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學識經驗ある者を聘し講義演說を囑し本會々員の演說と共に之を筆記して本會雜誌に揭載し每月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす
　但し演說の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　本會講義演說の際男子の傍聽を禁ず
　但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす
　但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

明治二十一年二月二十八日内務省許可

第十九條 務所に引出置を得
要す 會計の收支は總て會計課幹事の撿印を

第二十條 會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條 會費は郵便小爲換にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し
但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

第廿二條 入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條 每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す
但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得

第廿四條 三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條 規則の範圍内に於て役員の評議を以て細則を設くることを得

第廿六條 會各地方にて發起者十人以上ある者は支を設くることを得
但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

第廿七條 本會の集會場は時々報知する者とす

第廿八條 會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

明治二十五年九月
東京下谷區練塀町四十三番地
私立 大日本婦人衛生會

齒科診察 午前八時より 午後五時まで
東京日本橋區本町二丁目十二番地
齒科醫 高橋 コウ

明治三十年八月十八日印刷
明治三十年八月二十日發行
發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會
編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中德三郎
印刷者 同 神田區小柳町十三番地 高良造
印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可每月二十日發行
（定價金拾錢）